

オリエンテーション
基礎講座
テーマ別インプット
昼食休憩(各自)
グループワーク(ケーススタディ)
終講・次回のご案内

※カリキュラム・スケジュールは変更となる場合がございます。予めご了承ください。

デジタルツールを活用した効果的な育成

スクール中はオンライン学習ツールを活用。予習・復習・自己啓発だけでなく、ツールを使って受講生同士や弊社講師とコミュニケーションを行うことで、より自発的で効果的な学習が可能となります。さらに、スクール修了後は学習プラットフォーム「FCC Academy Cloud」のアカウントを付与。学びの定着につながる動画コンテンツが1年間視聴できます。



資料ダウンロード コミュニケーション アンケート

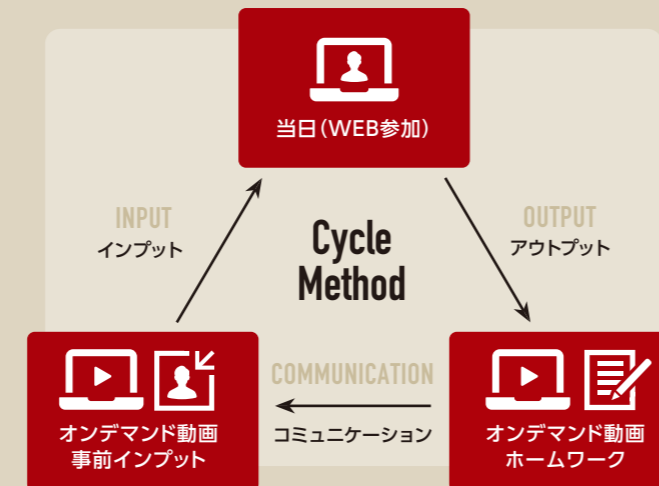
カリキュラムに合わせた予習 復習用動画コンテンツ

完全オンラインだから実現する、学びのDX

オンラインでインプットとアウトプットを繰り返す、「元の状態に戻らない」新しいサイクル・メソッド。

スクール当日だけでなく、オンラインでの事前・事後学習・他受講生とのコミュニケーションを通じて、より良い教育効果を実現します。

スキルアップを前提としたスクールだからこそ、インプットとアウトプットによる「学びを止めない」仕組みをつくることで、より実践に即した成果を生み出します。



貴社の育成担当者と連携し、受講生の成長をサポート

弊社オリジナルの「ワークシート」を活用して、貴社の育成担当者と連携し、受講生の成長をサポート。貴社・受講生・コンサルタントの三位一体で「サイクル・メソッド」の定着を促し、より密度の高い学習を実現します。

コンサルタントが直接ご報告

コンサルタントが、受講生の研修内容や受講状況をご報告いたします。本人の特徴(良い点と課題)に加え、成果物と今後の指導ポイントをあわせて、人材成長と会社貢献の視点から、育成アドバイスをいたします。

参加概要

- 受講対象** マーケティングDX戦略を推進する責任者・推進リーダー・事業企画・事業推進に携わる責任者・リーダー
- 早期割引** 2024年2月29日までにお申込みで10%割引
- 申込期限** 開催日の1週間前までにお申込みください。
※事情により、お申込みをお受けできない場合がございます。予めご了承ください。
- 受講料** お一人様/ 220,000円(税込)
※セミナー期間中の教材費を含みます。

申込方法

ホームページからお申込みください。詳細はこちらからご覧いただけます。

タナベ DXリーダースクール

☎ 携帯電話、スマートフォンからお申込みできます。▶▶▶



2024

DXリーダースクール マーケティングDXコース

DX Leader School / Marketing DX

戦略×デジタルを理解し、
自社のマーケティングDXを推進するリーダーをつくる

Point

1

自社にマーケティングDXを
実装するための
戦略ロードマップを描き、
アクションプランを明確にする

Point

2

自社の組織戦略として
マーケティングDXを推進し、
営業のデジタルシフトを
実現するスキルを身に付ける

Point

3

DXの全体像を理解し、
戦略へと組み込み、
投資判断ができる
知識を習得する

開催日程

第1回	2024年	5月21日(火)
第2回	2024年	6月19日(水)
第3回	2024年	7月17日(水)
第4回	2024年	8月21日(水)
第5回	2024年	9月18日(水)

※日程・開催時間等は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

お問合せ

株式会社タナベコンサルティング E-mail seminar@tanabeconsulting.co.jp

東京 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング9F
TEL 03-6758-0083 / FAX 03-6758-0074

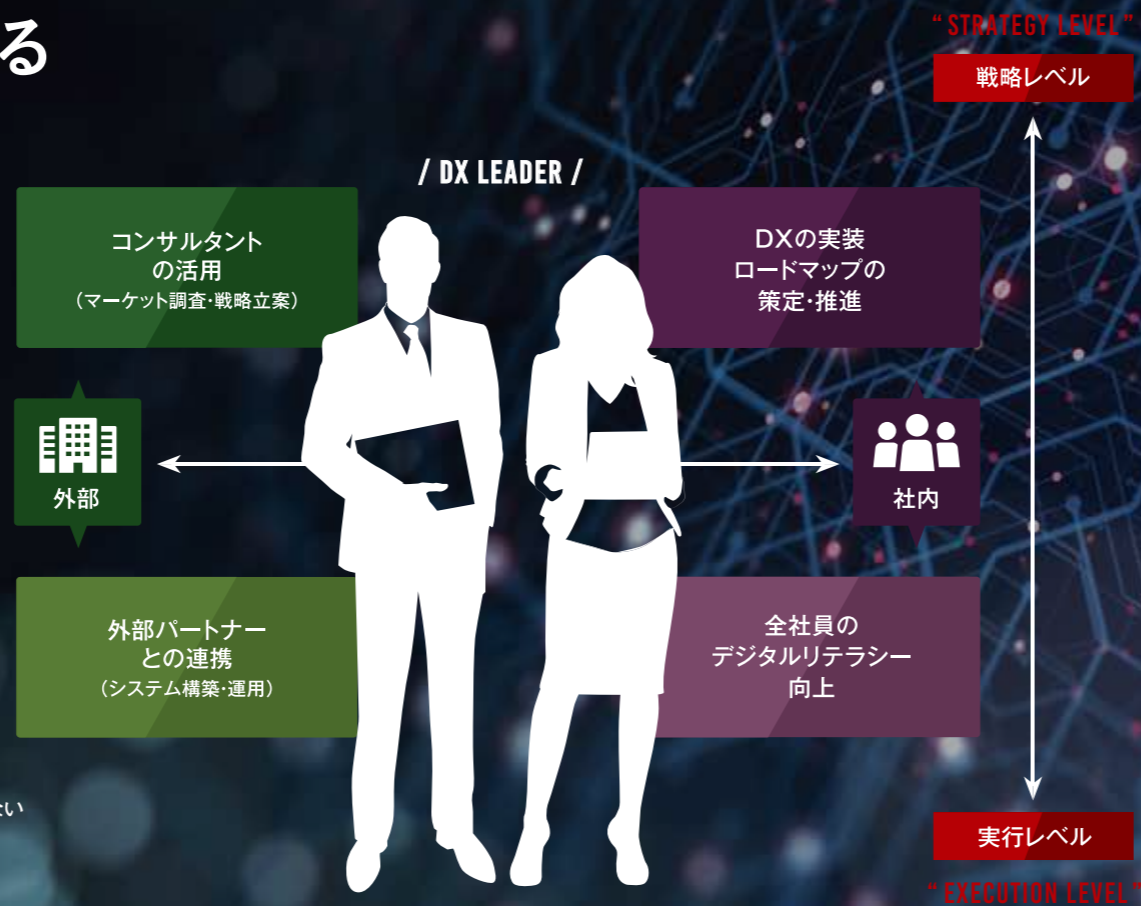
大阪 〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-3-41
TEL 06-7177-4008 / FAX 06-7177-4028

戦略設計×デジタルマインド醸成で、 自社にDX実装するまでの ロードマップを策定する

DXを推進するうえで、最初の壁となるのは「人材」です。
タナベコンサルティングでは、戦略を理解しているだけでも、
デジタルに精通しているだけでもない、
「自社の戦略を理解し、デジタルを用いて競争力を高めること
ができる人材」をDX人材と定義しています。
当スクールでは、「マーケティング」領域において、右図のよう
な「戦略」と「デジタル施策」を両軸で推進できるDXリーダーを
育成します。自社の現状と課題に即して、「戦略」と「マーケ
ティング」と「DX」を総合的に考える力を養います。

こんな課題はありませんか？

- 戦略的にDXを推進したいが、DXを理解している責任者・推進者が不足している
- 今までの営業スタイルを変えたいが、どのようにDXを進めていけば良いかわからない
- 自社内でDX人材を育成していきたいが、どのように学ばせるべきかわからない



Contents スクール内容

グループワーク

コンサルティング事例のケーススタディをもとに、
チームに分かれてディスカッションを行います。問題
の本質を把握し、的確に判断できる能力を習得。さ
らにグループワークを通じて自社の戦略に落とし込
むことで、より実践的な学びへと繋がります。

基本講義

基本知識だけでなく、コンサルティング
事例を交えた実践に結びつく講義
を、各回のテーマに応じて行います。
DXビジョンを実現できるDXリーダー
になるための理解を深めます。

アカウンティング講座

DXリーダーに不可欠な計数知識として、「KPI設計」
「投資回収と投資判断」などを学びます。それらの内
容はワークシートを通じて自社へ反映し、DX戦略・計
画の作成に活用します。

DX実装に向けたビジョンロードマップ

5ヵ月間のスクールを実施することで最終的にDXビジョ
ン実現のロードマップが完成します。最終回では「DX実
装コミットメント」として発表し、DXリーダーとして今後
どのように自社を変革していくのかを明確にします。



性格診断で自己分析

性格診断では、個人の考え方・価値観を定量的に分
析し「強み」や「注意点」を把握します。事前に自身の特
性を理解することで、テーマ感を持って、より有意義に
セミナーにお取り組みいただけます。



5 Curriculum / 全5回カリキュラム / ※変更になる場合がございます。

MARKETING DX LEADER SCHOOL

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
DXビジョンの明確化	自社のケイパビリティを把握する	顧客価値のリ・デザイン	DX戦略を設計する	DX実装に向けたコミットメント
DXを実装するうえで、最初にすべきことは「ゴール」を定めること。DXの全体像や潮流を踏まえ、自社がマーケティングDXを推進する目的やミッションを明確にします。	ケイパビリティとは、自社の組織が持つ能力や可能性そのもの。マーケットを分析するだけでなく、自社の現状のケイパビリティを分析し、把握することで、DX実装への基礎を固めます。	マーケティングにおいて、最も重要なことは「顧客価値」を追求すること。自社の真の顧客は誰か、その顧客に対して、提供できる価値は何かを見直し、DXを推進する判断基準を明確にします。	いかに良いマーケティング戦略を設計しても、社員が動かなければ意味がない。DXを推進していくためのアクションプランを描き、体制を構築することで、成果を生み出すためのカルチャーを創ります。	戦略設計とデジタルマインドを両立した人材こそが「DXリーダー」となる。スクールでの集大成をメンバーに共有することで、DXに向き合い、社内に変革をもたらすコミットメントをします。
INPUT ▶ 講義「DXの潮流とマーケティングDX」 ▶ DXリーダーに求められる思考① ▶ デジタルマーケティングツール	INPUT ▶ 講義「マーケットとケイパビリティ」 ▶ アカウンティング「全体像と財務諸表」 ▶ ホームページ分析とWEBチャネル	INPUT ▶ 講義「体験価値をデザインする」 ▶ アカウンティング「KPI設計とDX投資」 ▶ 外部パートナーとの付き合い方	INPUT ▶ 講義「DXカルチャーと推進体制」 ▶ アカウンティング「DXの投資判断」 ▶ 社内プレゼンテーション	INPUT ▶ 講義「マーケティングDXを実装する」 ▶ DXリーダーに求められる思考② ▶ 他社のマーケティングDX
OUTPUT ▶ グループワーク (ケーススタディ) 「ミッションの再定義とDXビジョン」 ▶ ホームワーク 「DXリーダーとしてのスキルセット」 「自社のDXビジョンの明確化」	OUTPUT ▶ グループワーク (ケーススタディ) 「マーケティング現状分析と改善方向」 ▶ ホームワーク 「自社を取り巻くマーケット分析」 「自社のケイパビリティ分析」 「デジタルマーケティング分析」	OUTPUT ▶ グループワーク (ケーススタディ) 「顧客価値を向上させる判断基準」 ▶ ホームワーク 「STPの再設計」 「マーケティングミックスの最適化」 「カスタマージャーニーと施策設計」	OUTPUT ▶ グループワーク (ケーススタディ) 「アクションプランと推進体制」 ▶ ホームワーク 「デジタルマーケティング戦略の設計」 「DXビジョン実現に向けたアクションプラン」 「マーケティングDX推進体制」	OUTPUT ▶ グループワーク 「DX実装に向けたコミットメント」 「DXロードマップの完成」